

# BIO Mimetics

## バイオミメティクス・市民セミナー

バイオミメティクス (Biomimetics) は、生物模倣技術と訳します。

「力の口を模倣した痛くない注射針」「サメの皮膚を模倣した水抵抗の少ない水着」「ヤモリの指先を模倣した粘着テープ」、さまざまな分野での新技術の応用と商品開発がなされています。

生物は、5億年の自然選択によって、人が頭で考えるデザインよりも優れたデザインを獲得しています。

博物館には多くの生物標本が収蔵されていますが、標本を工学者の設計デザインの視点から見直すとうなるでしょう。生物学者では解けなかった自然の造形美の意味が解き明かされるかもしれません。そして生物のデザインからアイデアを得て新しい技術が生まれるかもしれません。

動植物の持つ能力や形・機能などの特性を

把握し、そこからヒントを得て人工的に設計・合成・製造するのが「生物規範工学」です。

生物学と工学と博物館を結ぶ、**バイオミメティクス市民セミナー**では、生物学者と工学者が、新しい視点で生物の見方を紹介します。

会 場：北海道大学総合博物館／知の交流コーナー

時 間：午後1時30分から午後3時30分

セミナー8：2012年8月4日(土)

井須紀文 (株) LIXIL 水まわり総合技術研究所 IBA 推進室 室長  
「カタツムリと住宅材料」

セミナー9：2012年9月1日(土)

堀 繁久 (北海道開拓記念館 学芸第一課長)  
「北海道の昆虫多様性とバイオミメティクス」

セミナー10：2012年10月6日(土)

広瀬治子 (帝人 (株) 構造解析研究所 研究課長)  
「繊維とバイオミメティクス」

セミナー11：2012年11月3日(土)：文化の日

森 直樹 (京都大学農学研究科 准教授)  
「農業とエントモミメティクス、バイオミメティクス」

セミナー12：2012年12月1日(土)

長谷山美紀 (北海道大学大学院 情報科学研究科 教授)  
「生物画像から工学的「きづき」を生み出す新しいデータベース」

セミナー13：2013年1月13日(日)

龔 剣萍 (グン チェンピン) (北海道大学先端生命科学研究院 教授)  
「ゲルとバイオミメティクス」

セミナー14：2013年2月2日(土)

石田秀輝 (東北大学環境科学研究科 教授)  
「ネイチャー・テクノロジーと持続可能性社会」

セミナー15：2013年3月2日(土)

妹尾堅一郎 (東大)、阿多誠文 (産総研)、古田ゆかり (北大)、ほか (予定)  
「バイオミメティクスの社会受容とサイエンス・コミュニケーション」  
シンポジウム

※会場が変わります。詳細は別途ご案内します。

主 催：北海道大学総合博物館  
協 賛：高分子学会バイオミメティクス研究会  
北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp